

地区だより

すすすす

地域と共に

総合竣工式によせて



須々万中学校長 勝屋 照義

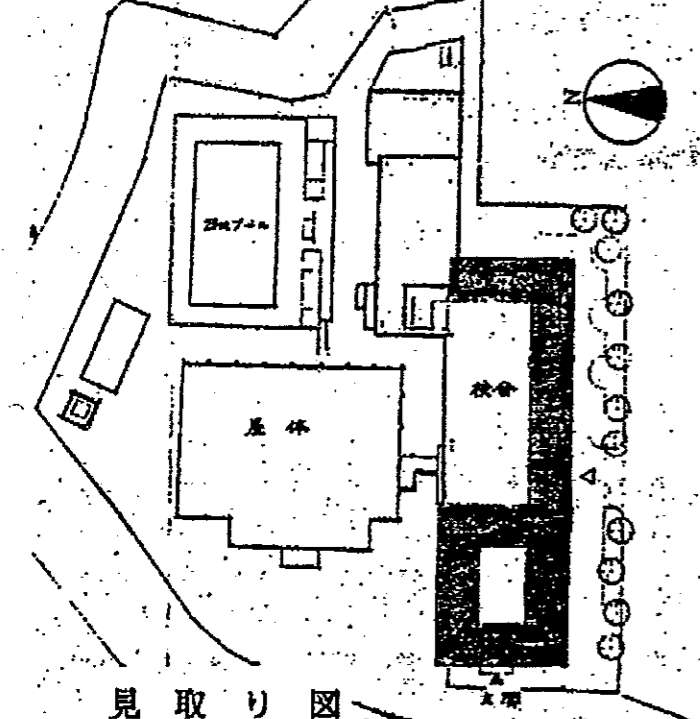
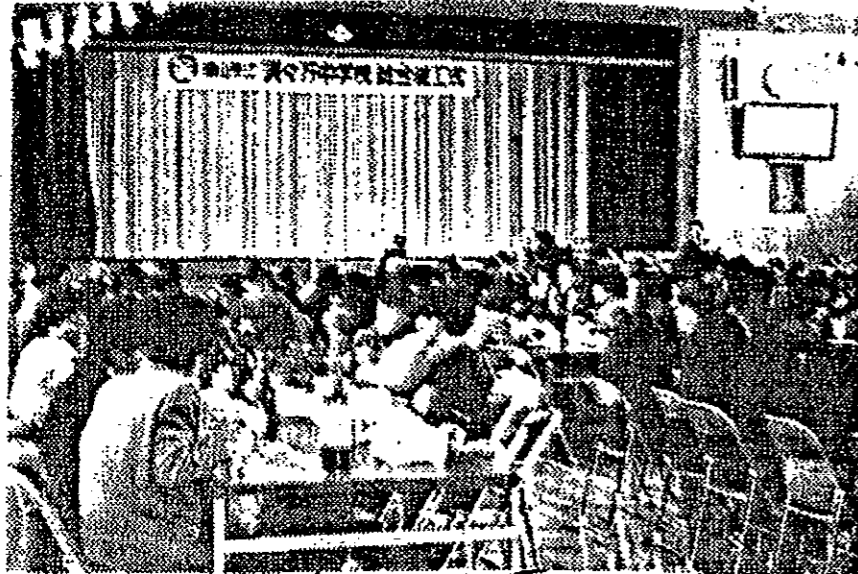
梅の香りがほのかに漂う一月十九日、私たちが待ち望んでいた新校舎の竣工式が地区を挙げて盛大に行われました。本校は戦後の学制改革と同時に上若の地に校舎が創建され、四十年の風雪に耐え、立派な卒業生を多数輩出して参りましたが、校舎の老朽化、地域の発展に伴う人口の増加、加えて教育の深化、充実による諸施設、設備の狭隘……等々の事情により地域を挙げて校舎の増改築が渴望されておりました。丁度、中学校開校四十周年という節目に当たり、県、市当局のご努力により、新引の台地に用地が確保され、六十二年度に新校舎が、平成元年度に屋体が、続いて本年度プールが完成し中学校としての体裁が整って参りました。これらは地元まちづく関係諸団体各位ならびにPTAの皆さんの物心両面にわたる力強いご支援とご協力の賜と厚く感謝致しております。

俗に「新しい皮袋には、新しい酒を盛れ」といわれます。私達教職員一同はこの立派な諸施設、設備を十二分に活用し、ふるさとを愛し、人々に感謝する豊かな心情をもった好ましい須々万っ子の育成につとめ、地域の皆さんの付託に応える覚悟でおります。

竣工しました新校舎は地域と共に発展する学校として、この度完成したプールを含め健康の維持、体力の増進にまた生涯教育学習の場として地域の皆様にご活用下されれば幸いです。意を尽くしません、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げますと共に、益々のご協力の程、お願い申し上げます。

プロフィール

生年月日 昭和五年八月二十五日
 趣味 関ができたら、盆栽、花づくりをしたい
 好きな言葉 「流れる水は腐らない」

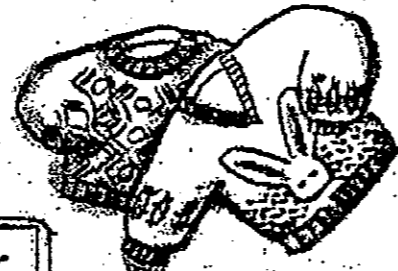


見取り図

第23号

平成3年 2月 5日 発行
 須々万地区まちづくり推進協議会 広報部

健康一口メモ



2月に入り、まだまだ寒さが続きます。そこで、今回は、防寒のための「重ね着」について。重ね着は、1枚1枚の服の繊維や織り目、編み目に含まれる空気や、また服と服の間にできる空気層が服の暖かさを高めてくれます。1枚の服でいうと、薄手のものより、厚手のもののほうが、その分空気が大きく含まれ暖かい。しかし、厚手のものを何枚も重ね着すると、重くなり動きにくくなる上、まるまると膨らんだ分、表面積も大きくなり、放散される熱も増えて、「思ったほどではない」ということにもなりがち。重ね着は、薄手で暖かいものを選んで。



須々万中学校の総合竣工祝賀会で、下記の方々からの(もち米)の寄贈と須々万婦人会の協力によりもちまきが、盛大に行われました。

氏名	自治会名	氏名	自治会名	氏名	自治会名
野田 節夫	上本城	馬馬 公徳	有馬	西和 奈古	
福野 又	上	久倫 基方	有伊	東和 奈古	
河野 忠志	上	藤田 美士	有伊	下牛 高	
福村 静	上	村橋 芳昭	有伊	高 西	
岸村 静	上	馬下 勝美	有伊	木原	
河村 静	上	下村 義次	有伊		
小前 静	上	林浦 美司	有伊		
藤本 静	上	正政 喜春	有伊		
吉松 静	上	新敏 久	有伊		
山本 静	上		有伊		
原重 静	上		有伊		
林村 静	上		有伊		
山田 静	上		有伊		
小松 静	上		有伊		
西村 静	上		有伊		
杉山 静	上		有伊		
山下 静	上		有伊		

どうもありがとうございました。 順不同 敬称略

お知らせ!!
 保健栄養学級受講生募集

毎月1回第3水曜日
 朝9時30分~昼1時過ぎ
 必要経費(調味料材料代実)
 お問い合わせは支所へ

成人の日特集



- (1) 実感はないが大人の仲間入りできた気がする。
- (2) 目上の人

上若 藤田 弘

- (1) 今年から社会人になるので、責任ある行動をとりたいです。
- (2) ここまで育ててくれた両親
- (3) 私の成人の年は、とても寒い冬で毎日雪降りでした。成人式の日、踏み固めた雪でつるつる滑る道を細いハイヒールをはいて、何なく役場まで歩いて行きました。ヒールも細いが先も尖っていて、スポーティと言うよりもドレスナーなほうが流行していたようです。食料は十分ある時代でしたが、ダイエットという言葉はまだ耳にしない時代でした。

上市 光長 香代子

- (1) 世間一人前の人間だと認められるので、嬉しい反面成人として責任ある行動をとっていかねばならないので、10代のほうが良かったと思う。
- (2) 両親
- (3) 朝起きて夜眠りにつくまで働きっぱなしの日々でした。若い時には買っても苦勞せよという親の言葉をしみじみと思い出しています。

下牛の毛 堀町 文枝

- (1) 20才になって一番変わったと思うことは“行動”だと思います。今までは全部適当にやっていた事も、20才になったということでも自覚を持って行動しなくてはいけないと思いました。周りの人達もそういう目で私を見ていると思います。自覚を持った行動、責任ある発言、これが20才になった私の仕事だと思います。また、20才になって色々なことにチャレンジしていきたいと思いますが、まず最初にしたい事は、20年間おがままばかり言ってきた親に、少しずつでも奉行していきたいと思っています。そして、社会に貢献できるよう努力していきたいと思っています。
- (2) 両親
- (3) 私共の成人式は終戦後なのであまり記憶に残っていませんが、今のように華やかなものではありませんでした。成人の皆様おめでとうございます。新たな旅立ちを応援致します。頑張ってください。

東殿木原 三好 めぐみ

- (1) 名実共に大人の仲間入りをし、成人としての自覚を持ち、責任ある行動をとりたいと思います
- (2) 祖母
- (3) 東京オリンピックが開催された年でした。近年のような立派な振り袖姿は珍しく、和服と洋服が半々位でした。仲良しの友人が成人式を前に他界しましたので、寂しく成人式に参列した悲しい思い出です。

東殿木原 下村 美希

- (1) 成人したので責任ある行動をしたいと思っています。
- (2) 会社の上司
- (3) 20才になったので大人の仲間入りをしたと思っ嬉しかったです。

上牛の毛 河村 正美

- (1) 今までの生活の反省と、これからの人生について考える良い節目だと思う。
- (2) 父親
- (3) 父親が長く入院していたので、親に心配掛けないようにして、母親の手助けをして頑張っていた。

上本城 中村 幸市

- (1) 20才になったとは言え大学在学中の身、実の所まだ親のすねかじり。しかし、成人としての節目を機に大人としての自覚と責任を深く肝に命じ、今やるべきことを懸命に努力していきたい。周囲を大切にしながら……。
- (2) 両親
- (3) 両親の病弱は子供心にいつも気になっておりました。高校卒業の後、地元の医院に就職。看護の道を歩き始めました。月日が経ち両親の治療の手伝いも何かと出来るようになりました。そんな折り、20才の成人式を迎え病床の父から頂いた詩。30余年経った今も心の支えとして大切に止めておきます。

“岩もあり木の根もあれどさらさらと
たださらさらと水の流るる”
片地 西林 誠

- (1) 一口に“20才”と言われても昨日までと全然変わらないので、実感がわかないけれど、大人の仲間入りをしたと言う責任と行動をしたいと思う。
- (2) 父。他人に優しくなれる人。
- (3) 今の時代とは違って、成人と言われても生活におわれ余裕のない時代でした。

下本城 村田 陽子

- (1) “はたち”という響きがすごく好きなので、できればこのまま年をとりたくないです。自分に必要な特質を培いながら、若い時を楽しみ、そこから最大の益を得たいと思っています。
- (2) 両親
- (3) 今から20数年前、私の20才の頃は親元を離れて働いておりました。毎日が勉強で覚える事が多かったけれど、色々な所へ行き多くの人達との出会いがあり、思い出として残っています。今から思えばあの頃は一生懸命やったなと思います。

肝要 有重 由美子

- 質問
- (1) 20才になった感想
 - (2) 尊敬する人
 - (3) 親御様の20才の頃